

3.7.2 Web 記事

Web 記事は、当事業の情報公開 Web サイトあるいは、広報効果が期待できる Web サイトに当事業に関連する記事を掲載することで、学び直しの機運醸成、学び直しの機会、環境整備に関する情報提供、また当事業の普及等を狙う。平成 28 年度は、事業アーキテクトコースの取材記事並びに起業塾第 6 回、7 回、8 回、9 回の取材記事を Publickey に掲載。

http://www.publickey1.jp/blog/16/1_pr.html



現在の学生数は約200人。しかも社会人学生の割合は後述する情報アーキテクチャ専攻が88%、創造技術専攻が72%であり、社会人が積極的に学ぶ場所となっています。

専攻科目は、企業の経営方針に合った課題解決のソリューションの策定、システムアーキテクチャ、プロジェクトマネジメントなどの能力を備えた情報アーキテクトを育成する「**情報アーキテクチャ専攻**」と、ものづくりスペシャリストとしてインダストリアルデザインやものづくりマネジメントなどを学ぶ「**創造技術専攻**」があり、そして新コースとしてITを活用することで生産性や付加価値を高め、産業分野の加速度的成長を実現できる人材を育成する「**事業アーキテクトコース**」が新設されました。

事業アーキテクトコースは「戦略+技術」を学ぶ

新設される事業アーキテクトコースは、「戦略+技術」を学ぶ新しい教育プログラムです。

次世代の成長産業分野、例えば観光や医療などにかかわるITやデザイン、マネジメントなどの活用と、生産性や付加価値を高めるための事業の起業や開発、改革などを実現する人材を育てるためのコースとなります。

よりビジネスに寄った高度な専門性を身につけるため、情報アーキテクチャ専攻および創造技術専攻の科目から必要な授業を取得するのに加えて、経営戦略特論やスタートアップ戦略特論、マーケティング特論、リーダーシップ特別講義、事業アーキテクチャ特論などの新しい科目が設定されます。

この事業アーキテクトコースは、文部科学省の「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」に採択された産業技術大学院大学「次世代成長産業分野での事業開発・事業改革のための高度人材養成プログラム」の一環として設定されたものです。

人気記事ランキング

1. Google社内の標準言語としてTypeScriptが承認される。ng-conf 2017
2. TypeScriptが標準言語になっても、Dartのことは忘れてませんよとGoogle担当者がフォロー
3. Angular 4の長期サポート発表、2018年10月まで1年半。次バージョン「Angular 5」はシンプル化とスピードに注力。ng-conf 2017
4. Pivotal Cloud Foundry 1.10がリリース。NETアプリケーションをフルサポートし、LinuxとWindowsを統一してカバーできるPaaSに
5. 「Azure Container Registry」正式サービスに。マルチOS対応によりWindowsとLinuxのイメージを同一名で保存可能、取得OSに合わせて自動提供
6. JenkinsのUXをシンプルかつビジュアルにする「Blue Ocean」バージョン1.0がリリース。パイプラインの設定や実行状況などをGUIで実現
7. VMware、性能を最大50%向上させた仮想化ストレージ基盤ソフトウェア「vSAN 6.6」発表。暗号化、サイト間ミラーリング、3D XPointなどに対応
8. Azureの東日本リージョンが7時間にわたってダウン。原因はデータセンターの冷却が失われ自動シャットダウン。日本のリージョンはこの1カ月で三回目の障害
9. VMware、vCloud Air事業の売却を発表。自社でデータセンターを展開する戦略から撤退、クラウドを仮想化するサービス事業者へ
10. 「ファッションとテクノロジーの融合によるサービスの革新」"ファッションテック" - AIIT 起業塾#6 - [PR]

3.8 事業成果の普及

当事業で開発した教育プログラムの普及を目的とし、Web サイト等での情報公開、大学関係者を招集して情報公開・意見交換を行った。

3.8.1 当事業の情報公開 Web サイト

当事業の情報公開を目的とした Web サイトを構築した。今後、継続的に当事業の成果(教育体系、スキル体系、シラバス、標準履修時間割、学生アンケート等のコンテンツ等)の公開、各種委員会等の活動報告、起業塾等の開催案内を随時掲載した。今後はこれらの普及活動のほか、重点科目等の授業動画公開(本学の動画配信サイト等)、Facebook 等のソーシャルメディアの活用を行う。

<http://bds.aiit.ac.jp/>



3.8.2 産業技術大学院大学 Web サイト



本学の公式 Web サイトに当事業に関する情報を随時掲載したり、当事業の情報公開 Web サイトとの相互リンクを張ったりする等し、相互連携により、事業成果の普及を図る。

<http://aiit.ac.jp/news/view/433>

3.8.3 大学院説明会

本学の大学院説明会で、当事業成果の教育プログラム(「事業アーキテクト」コース)に関する案内を行った。

3.8.4 最終成果報告講演会

当事業成果の普及活動、情報公開、成果・進捗報告のため、関係教育機関・企業等対象の「次世代成長産業分野での事業開発・事業改革のための高度人材養成プログラム」最終成果報告講演会を開催した(§ 2.5 参照)。

3.8.5 学修コミュニティイベント（起業塾）

当事業成果の普及活動及び社会人学び直し啓発のため、一般対象の起業塾を開催した（§3.7.1 参照）。

3.8.6 Web 記事

当事業成果の普及活動及び社会人学び直し啓発のため、当事業に関する Web 記事を掲載した（§3.7.2 参照）。

3.9 事業の評価

3.9.1 外部評価委員会

- 日時:2017/02/23(木) 13:00-17:10
- 場所:産業技術大学院大学 308 室
- 出席者:
(産業技術大学院大学委員)
川田 誠一 氏(産業技術大学院大学 学長)
小山 裕司 氏(産業技術大学院大学 産業技術研究科 情報アーキテクチャ専攻長 教授)
亀井 省吾 氏(産業技術大学院大学 産業技術研究科 特任准教授)
(外部評価委員)
田中 秀穂 氏(芝浦工業大学 専門職大学院工学マネジメント研究科 研究科長 教授)
大澤 隆男 氏(株式会社日立製作所 IT 統括本部 エクゼクティブ IT アドバイザー)
有賀 英雄 氏(株式会社東芝 技術統括部 ソリューション開発センター 共創企画部)
大谷 哲也 氏(横河電機株式会社高度ソリューション事業部 RTO 部長)

3.9.2 外部評価結果

外部評価委員会の評価は、先ず各委員が以下表 12 の通り、7 つの基準についての審査を実施した評価報告書を作成した後、委員長が取りまとめを行い、最終評価委員報告書の作成を実施した。尚、評価は、日本技術者教育認定機構における認証評価基準に照らし、S(優良)、A(適合)、C(懸念)、W(弱点)、D(欠陥)、－(該当なし)にて表示した。以下、表 12 にて最終評価委員報告書を示す。